



11月6日(日)は 総合防災訓練

11月6日(日)、午前8時30分より正午頃まで、総合防災訓練が実施されます。場所は、桂坂小学校グラウンド(雨天の時は同体育館)。

訓練の目的は、桂坂学区自主防災会および各自主防災部、並びに関係行政機関が一体となって、地震・災害に対する総合的な防災訓練を実施し、地域の防災体制の確立を図ることにあります。

3月11日に東北地方を襲った大地震と大津波は未曾有の災害をもたらした。未だに被災地は無残な姿をさらしたままであり、多くの人たちが避難、不自由な生活を余儀なくされています。

こうした地震など広域災害が発生した場合、救援に当たる消防の災害現場への到着が遅れ、地元消防だけでは対応できないことが予想されます。

そのような時には全国の消防・自衛隊・警察が被災地に駆けつけ、その中で、消防内に「緊急消

防援助隊」が編成されますが、この「援助隊」等防災機関が災害現場に到着して一分一秒を争う人命救助活動を迅速、かつ的確に行うには、私たち住民の持つ「人」の情報(負傷者や、逃げ遅れた人)が必要でありその情報を迅速的確に提供することが大切です。防災訓練を実施する「主眼」はここにあります。

訓練は「京都府南部を震源とする大規模な地震が発生し、各地で火災等の災害が多発し、地域住民の避難、救出・救護、初期消火、および給食活動等の必要がある」との想定のもとに実施されます。8時30分、セキユリティを通して「防災訓練」を行います。各防災部ごとに一時避難場所に避難し人員および被害状況を確認した後、9時15分までに桂坂小学校グラウンドに避難して下さい」との一斉放送があり、それを合図に防災訓練は開始されます。

参加するのは、桂坂学

20111025
[1105]
総 161号
発行 桂坂
自治連合会
広報編集部

区の自主防災会、各種団体と、西京区役所、西京消防署、桂坂消防分団等の関係行政機関です。

今年も約五〇〇名の参加が予定されており、平成5年の訓練以来、一回目ですから、防災訓練を体験された方は学区内ではかなりの数にのぼります。また例年、6月に市民防災センターで実施される各自主防災部や自主防災会専門部幹事らを対象とした「リーダー研修」でも、五〇名の方が「防災体験」を受講されます。

いつ起こるか判らない災害に対処するには、日常の備えと自主防災部等における「訓練」の積み重ね、そしてその間に培われていく近隣同士のお付き合いの深まりが大切です。

今年、各自主防災部では「防災図上訓練」という新たな訓練が行われます。それに基づくあかし自主防災部の訓練の模様を、編集委員・村井さんの、次の報告でご覧ください。



報告

災害図上訓練



あの未曾有の大震災から七ヶ月あまり、今なお多くの方々が不自由な生活を余儀なくされており、謹んでお見舞い申し上げます。

あかし自治会では、去る6月18日に西京消防署の方をお迎えして「災害防災訓練」を実施しました。

前半は、机上いっぱいに拡大した地図を囲んでの訓練——桂坂全域について、また、わが自治会域に関して、いったいどこ

だけのことを知っているかとの問いかけ。その設問のいくつかを紹介させていただきます。

- 広域避難場所やAEDの設置場所を思いつくり挙げなさい。
- 災害時に必要と思われる施設名(病院・医院・薬局・コンビニエンスストア等)を書き出しなさい。
- 公衆電話の在処を図示しなさい。

次には範囲を自治会付近に絞っての問いかけ。

後半は、大規模な地震が発生したものと想定して、時間とともにシミュレーションをしました。

- 大きな揺れを感じたらあなたはまずどうしますか。
- 家族の安否が確認でき

自主防災部長宅や班長宅を印したり、自主防災部の防災器材の在処や器材名(リヤカー・ボール等)を書き出したり、消火器・消火栓・防火水槽の在処を示したり、お年を召したご家庭は、などと続きます。

しかし私にはこれらのどれもがあまりない記憶の中にしかなく、確認すらしていなかったことが露呈されてしまうあり様でした。

後半は、大規模な地震が発生したものと想定して、時間とともにシミュレーションをしました。

- 大きな揺れを感じたらあなたはまずどうしますか。
- 家族の安否が確認でき

たら、〇〇さん、△△さんのどちらのお宅から安否確認に行きますか。

- 〇〇さんのお宅のドアが開きません。あなたの自宅に道具がない時はどうしますか。
- 〇〇さんも助け、自主防災部の集合場所へ集合しました。先ず何をしますか。
- 住宅地中央付近より火災の発生を確認しました。その時どうしますか。

近所の人が家具に挟まれたり、火傷を負ったりするなど怪我が多数出て人手が足りなくなってしまう場合にどう対処するか、困惑する事象が相次いで起こっていきま

いを求める風潮があまりありますが、「まち」を「一つの家族」として考え「もの」の時に助け合える、そんなまちづくりこそ今の時代に必要なのではないでしょうか。

あかし自治会
村井幸子

10月上旬から来年の3月末にかけて、市の都市計画局都市景観部風致保全課の所管する緑地で、荒廃する法面の回復緑化作業(緑化することにより法面をより安定させる目的)が実施されます。

ふれあいの里北側の法面では「回復緑化」の実施。しらかば自治会、西総合支援学校の西側法面ではクズの採取、もみろき自治会の南側法面ではクズの採取と竹の伐採が行われます。

NPO法人 森林再生支援センターが受託し、作業を行います。

作業時間は午前8時30分より午後5時まで。最善の注意を払って実施するとのこと。

法面の緑化作業

秋の統一ふれあいクリーンデー

11月13日(日)は、桂坂学区の「ふれあいクリーンデー」の日です。午前9時より、各自治会の指定する場所で実施されます。この、学区一斉の清掃行事は、桂坂に新しく移り住んだ「かえで自治会」の人たちの「朝の挨拶」や「玄関先の清掃」などを通して近隣同士が声をかけ合い親しくなりたいとの願いから始まったもので、桂坂学区の伝統ある行事です。

秋の行楽の日でもありますが、どうぞ皆様、親睦を深める格好の機会です、ご参加のほどよろしくお願いいたします。



「決められた答え」はなく、「普段からの心づもり」が「備え」であり、「防災への一歩」となっている。「手だて」になっていくのだと感じました。昨今は、他人に干渉されたくない希薄なつき合



平成 23 年

白河日記念日 日表表彰

11月15日は、京都市の「自治記念」の日です。明治22年に日本で「市制」が施行され、三九の市が誕生しました。しかし、京都市は、その政治的重要性から、東京、大阪とともに「市制特例」によって「自治権」が制限され、府知事直轄の下に「市制」が始まりました。ところが京都の先人たちが

「歩くまち・京都」特別表彰
菊池 潤治
桂坂関係の表彰者は次の方々です(敬称略)
なお、遺漏があるかも知れませんが、ご寛恕願います。ご連絡いただければ幸いです。
●基本計画策定特別表彰
各区基本計画
菊池 潤治
木村 順子
●大学のまち京都・学生のまち京都推進特別表彰
中西 進

あかしあ自治会
かえで自治会
けやき自治会
さつき自治会
しらかば自治会
つばき自治会
これのき自治会
はなみずき自治会
ひいらぎ自治会
●(ひと) 誰もがいきいきと暮らせるようひとを育てまちなぎを元気にする活動
東桂坂保育園
中華料理紅華桂坂店
自治連合会
各種団体
中川 益子
八木 兵司

山の手倶楽部だより
境谷公園、福西公園
竹林公園を経て、北
福西町バス停前で、
午後2時頃解散。
お願い
弁当、飲み物は各自
持参してください。
ハイキング担当
中口 利秋

第1研修室
第1部 講演
演題
「泣いて生まれてきたのだから、笑って死にゆく準備をしよう」
講師
真言宗総本山(東寺)
前教化部長
土口 哲光氏
第2部 朗読劇
演目
源氏物語「ゆくへ知られぬ宇治の恋」
出演
朗読サークル
「木もれ日 Genji」
なお、当日12時30分より受け付けています。
研修担当
伊藤 光男

9月3日に予定して
いましたこの講演会は
台風接近のため急遽中
止、延期となりました
が、改めて次の通り開
催いたします。
日時
11月27日(日)
午後1時~3時頃
会場
ふれあい会館

記念ハイキング
日時
11月26日(土)
午前9時集合
集合場所
桂坂公園入口(西洋
ハウジング横)
コース
古墳の森見学後、洛
西新林池公園から、

地域の福祉、みんなで参加 赤い羽根共同募金へのご協力を！

桂坂の募金活動期間は 11月1日~11月30日

桂坂緑水会に
市長より感謝状

10月15日、京都市都市
緑化推進功労者表彰式が
梅小路公園「緑の館」に
おいて開催されました。

この度、桂坂緑水会が
「都市緑化推進活動を積
極的に、緑豊かな潤
いのある京都まちづくり
に寄与され、その功績ま
ことに顕著なるを称えら
れて、門川市長より感謝
状が贈られました。

日頃、緑水会の皆さん
は、街路樹下の枯れたツ
ツジ等の補植や水遣り、
ロータリー内の花壇の管
理などを行っておられま
す。



痴漢 多発!

西京防犯推進委員協議会

桂坂支部長 梶間 俊郎

わが町「桂坂」は比較
的犯罪発生が少ないので
すが、意外と痴漢が多発
しているようです。

この種の犯罪は、警察
への届けが必ずしもなさ
れないので実数を掴みか
ねておりますが、かなり
の発生がある模様です。
大枝交番さんも必死に
努力していただいている
のですが、広い桂坂を一
台のバトカーでカバーす
るのはとても無理です。
そこで皆さんには自衛
手段をとっていただきた
いと思います。

犯罪形態
声掛け、露出、身体を
触る

絶対にはやめてはいけ
ないこと
ケイタイを操作しながら
ら独りで歩くこと
――
昼間でも危ない！

自衛策
① 夜間にバスを降りた
時は、周囲を警戒す
ること。
② できれば防犯ブザー
を携帯し、いざとい
う時に鳴らすこと。
③ バス停から距離がな
くても、極力ごなた
かが迎えに行くこと
(降りる前に自宅に
連絡、迎えを依頼す
る)

京都には「安心安全お
知らせメール」というも
のがあります。
これに登録しておきま
すと、この種の事案やひ
つたくり、或は、振り込
め詐欺などの発生状況、
対策などがリアルタイム
で送信されてきます。皆
さんも登録されればいい
かと思しますので、ご検
討ください。
登録方法:
以下のメールアドレス
に空メールを送信し、京
都府警から返信されるム
ールに従って手続きをし
てください。
anzentak-aushin.pref
@koto.jp
また、大枝交番へのご相
談は090-831-2221まで。
対応
万が一、被害に遭われ
た時は、怖がらず警察に
通報してください。
一人一人の強い心が
犯罪を防止します。

高齢者福祉施策に関する勉強会

広報「桂坂」158号(6月21日発行)でお知らせしましたように
桂坂センターE地区(桂坂ロータリー北東角)は転売されました。
桂坂学区自治
連合会が、桂坂地区建築協定協議会と共に数回の接触をしたとこ
ろ、現在、新土地所有者は、特別養護老人ホーム等の高齢者福祉
施設の建設を検討しているようです。

そこで、桂坂の住民として、その是非を判断する前に、高齢者
福祉施策に関しての勉強会を下記のごとく開催いたしたいと思
います。「京都市政出前トーク」として、京都市保健福祉局の長寿
福祉課長に「京都市民長寿すこやかプラン」を中心に説明して
いただくことになっています。

日時 11月13日(日) 午後1時から2時30分

会場 桂坂小学校「クローバーホール」

桂坂住民であればどなたでもご参加いただけます。資料は100部程度、用意します。

なお、今回は、京都市に対して要望を行う場ではありませんので、予めご承知おきください。

桂坂学区自治連合会

桂坂学区民体育祭

御礼

桂坂体育振興会

会長 布本和久
役員一同

西山の秋色既に酴で、樹々の梢も色づいてまいりました。桂坂の皆様方益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、去る10月9日実施の第21回桂坂学区民体育祭は、スポーツ日和の好いお天気に恵まれ、大枝中学校吹奏学部による入場行進の素晴らしい演奏で始まり、皆様方のご参加ご協力を得て盛大の

うちに終了できました。本当に有難うございました。

子どもたちからお父さんお母さん、そしておじいちゃんおばあちゃんまで多くの世代の方々が一堂に集まって家族の絆を確信され、また、ご近所の皆様とご一緒に楽しく過ごされてコミュニケーションの充実を更に深められた、有意義な一日だ

ただだろうと思えます。私たち役員一同、皆様方の、あの喜んでおられる素敵な笑顔を見届けて安堵いたしました。

これからも体育振興会は、スポーツを通じて地域の皆様の健康増進や親睦づくりを目指し、更なる地域の発展のため事業を進めてまいります。ご参加、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後に申し上げますが、この体育祭の原動力となる貴重な協賛金および助成金、また、お祝金を頂戴しました皆様方に厚く御礼を申し上げます。また、選手集めをしていた

た、できました。各自治会の体育委員の皆様、そしてお手伝いいただきました桂坂の自治連合会を中心とした各自治会および各種団体の皆様方にこの紙面をお借りして御礼申し上げます。

京都市から依頼された来年3月11日開催の「京都マラソン」のアンケータにご協力いただきましたこと、併せて御礼申し上げます。有難うございました。

桂坂学区民体育祭

10月9日(日) 於桂坂小学校



10月9日、第21回桂坂学区民体育祭が桂坂小学校のグラウンドで行われました。体育祭の主な種目の結果は次の通りでした。

総合成績

- 優勝 もくれん
- 準優勝 もみのき
- 3位 ぼぶら

- 綱引き
 - 1位 ぼぶら
 - 2位 ひいらぎ
 - 3位 さくら
- 玉入れ
 - 1位 もみのき
 - 2位 もくれん
 - 3位 にれのき
- 大玉ころがし
 - 1位 ひいらぎ
 - 2位 ぼぶら
 - 3位 あかしあ
- 輪投げリレー
 - 1位 さつき
 - 1位 しらかば
 - 1位 ぼぶら
- 小学生リレー(女)
 - 1位 つばき
 - 2位 もみのき
 - 3位 もくれん



- 小学生リレー(男)
 - 1位 つばき
 - 2位 もくれん
 - 3位 しらかば
- 一般リレー
 - 1位 はなみずき
 - 2位 にれのき
 - 3位 ぼぶら

洛西 ふれあいの里 秋祭り

実施報告 — 阪田 信弘



また、西京消防署の家庭自動火災報知器啓発、消火器体験コーナー等に加え、今年度は洛西エコまちステーションの参加による、エコ活動の推進啓発や桂坂地域女性会の活動の取り組みとしてリサイクル製品メグレットの配布等、安心・安全のまち作りを進めている桂坂地域のお祭りとして、より充実したものになりました。

今年度の第9回洛西ふれあいの里秋祭りは、10月1日、2日の二日間、桂坂地区の福祉ゾーンである洛西ふれあいの里一帯と、西総合支援学校を会場として実施いたしました。

土日開催のふれあい会館では作品展(施設利用者の作品、ふれあい)

桂坂体育振興会 会長

布本和久氏

文部科学大臣より表彰

この度、桂坂体育振興会の会長ならびに西京区体育振興会連合会の副会長である布本和久氏が、10月7日、文部科学省において栄えある「平成23年度 生涯スポーツ功労者」として「文部科学大臣表彰」を受賞されました。

この度、桂坂体育振興会の会長ならびに西京区体育振興会連合会の副会長である布本和久氏が、10月7日、文部科学省において栄えある「平成23年度 生涯スポーツ功労者」として「文部科学大臣表彰」を受賞されました。

また、西京消防署の家庭自動火災報知器啓発、消火器体験コーナー等に加え、今年度は洛西エコまちステーションの参加による、エコ活動の推進啓発や桂坂地域女性会の活動の取り組みとしてリサイクル製品メグレットの配布等、安心・安全のまち作りを進めている桂坂地域のお祭りとして、より充実したものになりました。

また、西京消防署の家庭自動火災報知器啓発、消火器体験コーナー等に加え、今年度は洛西エコまちステーションの参加による、エコ活動の推進啓発や桂坂地域女性会の活動の取り組みとしてリサイクル製品メグレットの配布等、安心・安全のまち作りを進めている桂坂地域のお祭りとして、より充実したものになりました。

また、西京消防署の家庭自動火災報知器啓発、消火器体験コーナー等に加え、今年度は洛西エコまちステーションの参加による、エコ活動の推進啓発や桂坂地域女性会の活動の取り組みとしてリサイクル製品メグレットの配布等、安心・安全のまち作りを進めている桂坂地域のお祭りとして、より充実したものになりました。

「駒札」除幕式と

出土品展・記念講演会

桂坂「古墳の森」

9月25日(日)午前10時より、門川京都市長はじめ京都市の関係者、大枝山古墳群の調査発掘時の関係者ら来賓をお迎えして、桂坂「古墳の森」の駒札(説明板)の除幕式が行われました。

主催者を代表して菊池自治連合会長の開式の挨拶の後、川久保全京都建設協同組合理事長が「駒札」設置の経緯について「大枝山古墳群の調査終了後、造成工事によって埋没する予定であった14号古墳を現在の場所に移

様とともに、史跡大枝山古墳群の維持・管理の取り組みのお手伝いをさせていただきたい」旨の説明がありました。

「駒札」の序幕の後、門川京都市長より概ね次のような祝辞をいただきました。

●少し早くよせていただき、大枝山古墳群——移築された14号墳と、下の古墳群全体を、15号墳は中まで見せていただき、本当に歴史を感じさせていただいた。改めて京都の財産だ、日本の宝だと実感した。説明板もほんとうに素晴らしい。歴史と伝統のまち京都には、一七〇箇所近い古墳があり、国や京都市の史跡指定を受けているのは、この大枝山古墳群を含めて六箇所。さらに古墳の中心まで拝見できるのは右京区に三箇所あるだけで、この大枝山古墳群がいかに大切なものであるか、そしてまた、よく遺されたものだなと思う。西洋ハウジングさんより京都市に移管された後は、地域の皆さんと一緒にしっかりと後世に伝え、歴史と伝統を次の世代に伝えていく、さらに全国、世界に発信していく、そのように私も努力したいと思う。

秋の「古墳の森」見学会

11月26日(土) 午前9時30分～午後4時

「大枝山古墳群」14基のうち、移築された14号墳と、15・21号墳は石室の内部もご覧いただけます。古墳群の鎮座するたたづまい——桂坂では唯一「歴史」を感じとっていただけるところです。

お待ちしております。

※ 11月20日(日)には、10時より「古墳の森」の清掃を行います。
桂坂「古墳の森」保存会



新しい住環境、自然環境、その中にこれだけの古墳群がある、それをしっかりと保存し、活かしていこうという皆さんの取り組み、本当に力強い限りだ。京都の強みである「歴史力」を活かしながらこの桂坂に、この京都に住んでよかった、そう実感していただけるまちづくりをとともに進めていきたい。ご尽力いただいた皆さんに心から敬意を表する。

神戸国際大学教授白砂伸夫氏からも次のような祝辞をいただきました。

● ほぼ三〇年前、ここにまだ街のない時代からこの計画に携わり、この街を緑と自然の街にしたというコンセプトで街をつくって来た。

この街は、野鳥公園、古墳公園、近隣公園(桂坂公園)という緑のかたまりが街の真中に在る。本来ならば街の真中は都市にするところ。しかし桂坂は緑が大事。野鳥公園は自然に、古墳公園は

歴史に、そして近隣公園は皆さんのために三公園をつくった。

ところが、私のデザインした古墳公園はいつ来ても閉鎖されていて中が見えない、随分さびしい思いをしてきた。この度みなさんのお蔭で立派な駒札まで建てていただいた。当初の設計担当者として感無量で、この古墳公園が皆さんの力で新しい桂坂の自然の財産としてつくって行かれる、まことに素晴らしいことだ



思う。今後ともこの古墳公園をよろしく願いたい。

(この「除幕式」の模様は10月3日より9日まで洛西ケーブルビジョンの報道番組で放映されました)

除幕式の後、「古墳の森」の見学会。

また、桂坂小学校の会場、カザラツカルームでは、大枝山古墳群から出土した銀象嵌を施した鉄刀など三〇点ほどの遺物が展示され、クローバーホールでは、埋蔵文化財研究所からお二人の講師をお迎えして講演会が開催されました。

報告：丸川義広氏「大枝山古墳群の調査で判ったこと」

市長さんと下に下りたが、そこに至る階段はタイムトンネルというコンセプトでつくり、周りだけ木を植えたが、今や全部が木となり、タイムトンネルを抜けると、かつてあった大枝山の自然に出会うことができる。三〇前にあったそのままの自然が今再びここに現れた。桂坂の皆さんの財産であるとともに京都市にとっても大きな財産だと思ふ。

記念講演：「京都の文化財保護と埋蔵文化財」

いずれもスライドを使ったお話。京都の歴史の重み、桂坂古墳群の維持保存の大切さを痛感させられるものでした。



「古墳の森」保存会は桂坂に在るすぐれた文化財「大枝山古墳群」を保存するため、広く会員を募集しています。

これまでも広報『桂坂』を通してお伝えしましたが、保存会の主な活動は、「古墳の森」に対する認識を深め、その意義等を知っていただくこと、そして京都市などと連携しながら維持管理につとめることです。

これら普及・維持の活動には、色々な形、参加の態様が考えられます。

「学生時代に大学の先生と共にあちこち古墳を巡り歩いた、その時以来古墳を見たわけで、大変感動した。よく整備されている。今後とも保存会の皆さんには大枝山古墳群の維持・保存のためご尽力いただきたい」旨のお電話でした。

「古墳の森」保存会

「古墳の森」保存会

募っています

10月12日の昼頃、門川京都市長より保存会宛に直接電話をいただきました。

「皆さんのお知恵やお力をお借りして、地道で、息のながい活動を模索し企画し実行していきたいと思ひます。」

歴史に興味関心のある方、ちょっとお手伝いしてみようかと思われる方は、保存会にご入会いただけたらと思います。

現在、役員の他に二六名の方が会員登録をされています。清掃活動を支えてくださる「もっこり会」の方は賛助会員として登録されています。

「除幕式」当日、「参加者名簿」とは別に「入会申込用紙」を用意しておりました。「名簿への署名」をもって「入会」と見なされた方もいらっしゃったようです。

その方は、お手数ですが、改めて次の連絡先に電話またはファックスをいただくか、次の催しの折りにお申込みいただければ幸いです。

加藤貞雄 331-2602
大西 功 331-9263
細谷修三 331-8280
八木兵司 332-1581

「古墳の森」保存会

次号の『桂坂』は12月13日(火)に発行を予定しています。

広報編集委員会

皆さんのお知恵やお力をお借りして、地道で、息のながい活動を模索し企画し実行していきたいと思ひます。

門川市長より
ねぎらいの電話